

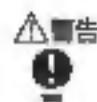
安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記述されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について



はしこ専用脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。
はしこ専用脚立は、高い所で作業するときの足場として作られた「脚立」の用途と、壁物などに立て掛けて高い所に昇り降りする「はしこ」の用途があります。「はしこ」として使うときは、作業をしないでください。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。



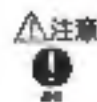
この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。体重と荷物合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。また、荷物はバランスが保てる程度の人ささや重さにしてください。



はしこ専用脚立を加工や改造しないでください。重大な事故を起こす恐れがあります。



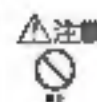
お子様や取扱説明書・脚立ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。
この製品の取扱説明書や脚立ラベルには、安全に使用する上で特に注意することが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。



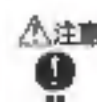
使用に当たって必ず読んでください。製品に引っかかったり、それを掴みつづける恐れのある服装で使用しないでください。



貼りつけてあるラベルが剥がれたり、読めなくなった製品は使わないでください。必ず、弊社から正しいラベルを貼り直し、正しい向きに貼り、内容を理解してから使ってください。ラベルを貼り直せるときは、ラベルのナンバー(「おひのなまえ」)(「ページを参照」)まで確認してください。

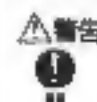


身体が下記の状態のときは、使わないでください。
・酔っているとき
・薬や酒を飲んだとき
・病気や怪傷しているとき
・身体に異常を感じるとき
身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



この製品を人に貸すときは、取扱説明書と共に貸し出してください。
取扱説明書には、安全に使用する上で特に注意することが書かれていますので、よくお読みのうえ使うように指導してください。

2. ご使用になる前に



使う前には、必ず「ご使用前の点検(5ページを参照)」を行い、異常のないことを確認してください。
異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。



使用したはしこ専用脚立を、使わないでください。
この製品はアルミ製です。湿ったアルミ材は曲がりやすくなり、強度が落ちる恐れがあります。したがって、使用した製品を修理して使いますと、結果に損壊の原因になります。

3. 搬送ときは



持ち運びときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。
乱暴に扱おうと、変形やへこみ・破損の原因になります。

4. 設置する場所について



設置するときや持ち運びときは、配電線に注意してください。
この製品は電線を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。



はしこや脚立が安定しない場所には、設置しないでください。
設置場所が下記の状態では、はしこや脚立が傾いて転倒や転落の恐れがあります。
・やわらかい地面や雪で、はしこや脚立が安定しない場所。



・段差があったり、凹凸があって安定しない場所。
・はしこで使うとき、支柱の片側がジャリ(もう一方がコンクリートなど、左右の硬さが違う場所)。
・脚立で使うとき、脚立がガタつく場所。
・傾斜している地面や床、階段の上。
・傾斜している場所。
・その他、安定しない場所。



はしこや脚立が滑りやすい場所には、設置しないでください。
設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。
・滑りやすいビニール敷の床・タイル・敷物の上。
・濡れている場所。
・滑りやすいタイル・ガラスなどの床。
・傾斜や凍結している場所。
・雪・氷・はこり・落葉などで滑りやすい場所。
・その他、滑りやすい場所。



人の出入口やドアの前には、設置しないでください。
出入りする人や開けたドアで、はしこや脚立が倒れて転倒や転落の恐れがあります。



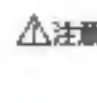
雨の中や強い強い場所には、設置しないでください。
濡れた路面で滑ったり、強い風を空けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



足元や周囲がはっきり見えない場所には、設置しないでください。
足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。



周囲に危険なものがある場所や、以上に障害物のある場所には設置しないでください。
転倒や転落の恐れがあります。

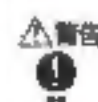


同じ場所に設置されまると、床材等の材質によっては支柱脚の接地部分に傷を付ける場合がありますので注意してください。

5. はしこや脚立に上るとき



両側の安全止め金具を確実にロックしてください。(「ご使用前の点検」(5ページを参照))
安全止め金具のロックが不十分でせうと脚が閉鎖し、転倒や転落の恐れがあります。



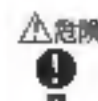
脚立を開閉するときに、可動部や回転部などで足を挟まれないように注意してください。
怪我をする恐れがあります。



6. 脚立状態で設置するとき



脚立を高くするために、脚立にパイプや木などをくっつけたり、台や踏の上に足をのしないしないでください。
つなぎ目が折れたり、台や踏が破損して、転倒や転落の恐れがあります。



はしこの立て付け角度は、約75度にしてください。
はしこを立てすぎると倒れ、おがをすげると滑りますので、転倒や転落の危険があります。

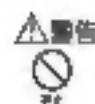




はしこを水平にして、使わないでください。
製品が損傷して、転倒や転落の恐れがあります。



はしこを長くするために、別のはしこやパイプ、木などをつないだり、台や壁の上に置いたりしないでください。
つなぎ目が折れたり、台や壁が移動して、転倒や転落の恐れがあります。



重物の持ちや突き出した際に、はしこの先端を立て掛けて使わないでください。
はしこのしなりや湾曲によって、はしこの先端が折れ、転倒や転落の恐れがあります。



脚立を折りたたんだまま、壁物に立て掛けたり、水平にして使わないでください。
不安定な使用のため、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



電柱や木など堅いものには、立て掛けしないでください。
足が滑るなど、はしこが不安定になり、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

8. 脚立状態で降り降りや乗るとは



天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。
バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。天板に乗るときは、身体が天板の中央になるように乗ってください。



勢勢に2人以上乗らないでください。
脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



脚立を背にして、降り降りしないでください。
身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。
身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



身体が安定が得られないような荷物を抱えて、降り降りしないでください。
バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、荷中に両手などして、両手両足を支える状態にしてください。



使用中、脚立の上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。
無理に押したり、引いたりすると、反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



二つの脚立の間に板を掛けて、足場などに使わないでください。
板などが破損したり、脚立が不安定になって転倒や転落の恐れがあります。



脚立は傾斜に降り降りし、脚立の途中から降り降りたりしないでください。
傾斜降りの恐れがあります。降りるときは、最下段の足で使って傾斜に降りてください。

9. はしこ状態で降り降りするとき



はしこと重物の接触より上の足で、体重をかけるしないでください。
はしこの後や前が持ち上がり、不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



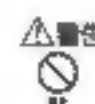
同時に2人以上乗らないでください。
はしこが不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



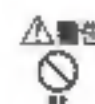
はしこを倒したり、手放して降り降りしないでください。
身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。



はしこの支柱から身体を乗り出さないでください。
身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



身体が安定が得られないような荷物を抱えて、降り降りしないでください。
バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、荷中に両手などして、両手両足を支える状態にしてください。



はしこの上で壁や物を無理に押したり、引いたりしないでください。
壁などを傾斜に押したりすると、その反動ではしこが持ち上がり、ずれたりして、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。



はしこは傾斜に降り降りし、はしこの途中から、降り降りたりしないでください。
傾斜降りの恐れがあります。降りるときは、最下段の足で使って傾斜に降りてください。

ご使用前の点検

はしこ専用脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置のできるものは、正しい処置をした後に使用してください。

1. 目で見て、下記の点検をしてください。

① 足にグリス、油、泥、水、ペンキなど、滑りやすいものが付いているか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。
(アページ参照)



② 足板の曲がり、ねじれ、へこみがないか確認し、ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



③ 足板に足が滑り、へこみがないか確認し、ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



④ 各部分の接合部に割れやゆがみ、緩みがあるか、また、取り付け部品の破損、変形、腐食、ゆがみ、緩みがあるか、ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

⑤ リベット、ねじ、ボルトなどのゆるみや抜け落ちがあるか、ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

⑥ 滑り止めキャップ(支柱部品)が外れたり、すり減ったりしていないか、外れたり、すり減ったりしている場合は、絶対に使わないでください。必ず新品と交換してください。

2. 下記の箇所を触って点検をしてください。

⑦ 各部分の端を触って、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



3. 支柱を倒れて、下記の点検をしてください。

⑧ スムーズに開閉できるか、スムーズに開閉できないときは、左右のヒンジ(回転部品)に泥やゴミ、こみや埃が溜まっているか点検し、あれば取り除いてください。



⑨ 左右のヒンジ(回転部品)のゆるみやガタツキがあるか、ガタツキがある場合は、ヒンジ(回転部品)のゆるみや外れが考えられるので、絶対に使わないで廃棄してください。



⑩ 左右の固定止め金具は、ロック型に確実にロックできるか、確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



⑪ 左右をいっばいまで開き、左右の固定止め金具は、ロック型に確実にロックできるか、確実にロックできない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



設置場所について

1. 脚立状態で使うとき

- 平坦で安定した場所、滑りにくい場所、また脚立が置かれる場所を避けて設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- 脚立の両面に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。
- 設置後は脚立にガタツキがないか確認し、ある場合は脚立の位置を移動してガタツキなどを取り除いてください。

2. はしご状態で使うとき

- ガタツキがない安定した場所、滑りにくい場所、またはしごが置かれる場所を避けて設置してください。
- 雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- はしごの両面に危険な物がなく、バランスの良い姿勢で使える位置に設置してください。
- はしごの接点部分が両面に十分にそろえられ、滑すべやガタツキがないことを確認して、ある場合は、はしごの位置を移動してガタツキなどを取り除いてください。

脚立状態での使いかた

1. 脚立にするとときとたたみかた

<脚立にするととき>

①はしご兼用脚立の踏手を両手で持ち、片足の足をさば位置に立ててください。

②もう一方の足を、右足のようについてください。



※はしご状態から脚立にする場合は、左右の踏止め金具を、下図のように出してください。



③標準タイプは、5石の踏止め金具を右図のように、1位置で上から押さえて、踏止め金具を確実にロックしてください。



<たたみかた>

【標準タイプ】

①左右の踏止め金具を下図のように、1位置で上にあけて、金具を「へ」字にしてください。



②両手で踏手を上図のように持ち、慎重に折たたんでください。

【一体式タイプ】

①左右のロック部を解除し、両端の金具を外してください。

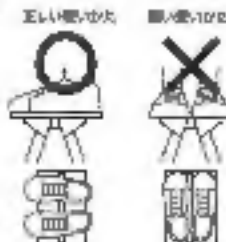
②両手で踏手を左図(脚立にするときを参照)のように持ち、慎重に折たたんでください。



警告 両端は、慎重にゆっくり行ってください。乱暴にしますと、可動部や固定部などで手をはさんで、変形や故障の原因になります。

2. 脚立の降りかた・降りかた・作業のしかた

- 降りる前に、必ず左右の踏止め金具が確実にロックされていることを確認してください。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 両手の位置を脚立の昇降部に付け、慎重に降り降りしてください。
- 両脚があるときは、真中に着地などして、両手を支えるようにしてください。
- 天板に乗るときは、身体が天板の中央にくる位置に乗ってください。
- 脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を離れさせないでください。
- 降りるときは、両足つまみで踏手を握り、最下段の踏手まで使って慎重に降りてください。



- 踏手に乗るときは、はしごの両端から、滑りにくい足で踏手を握ってください。
- 脚立を移動するとき、両足つまみで踏手を握り、両足つまみで踏手を握ってください。



はしご状態での使いかた

1. はしごにするとときとたたみかた

<はしごにするととき>

①はしご兼用脚立を折たたんだ状態のまま、両手に握らせて置いてください。

②上側の踏手を握って、しばらく待たせてください。

③はしご兼用脚立を横向きに起こし、上側の踏止め金具をロック型にロック部で確実にロックしてください。



注意 はしご兼用脚立を横向きに起こしたとき、上から力を加えないでください。変形する恐れがあります。



<たたみかた>

①はしごを横向きに起こし、左右のロック部を解除して、踏止め金具を外して、折たたんでください。



注意 横向きにしたとき、上から力を加えないでください。変形する恐れがあります。



注意 はしごを折たたんだときは、慎重に行ってください。乱暴にしますと、変形や故障の原因になります。

2. はしごを立て掛けかた

- ①はしごの両面が使えるように立て掛けてください。
- ※両面には「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼ってあります。
- ②はしごを立て掛け角度を約75度に調整します。
- ※75度の目安は、支柱に貼ってある「75度目安タイプ」を、水平な地面(※1-準直な地面と平行になるようにしてください。
- ③はしごを正面から見て、まっすぐ(お平な地面に90度)に立て掛けてください。

3. はしごの降りかた・乗るかた

- 降りる前に、必ず左右の踏止め金具が確実にロックされていることを確認してください。
- はしごは、両面と裏面があります。降りる際に裏面であることを確認してください。裏面には、「この面は裏面です 使用禁止」のラベルが貼ってあります。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前足をはしごに向け、両手・両足を握って、慎重に降り降りしてください。
- 降り降りたときに足を踏まざるような姿勢があるときは、真中に着地などして、両手を支えるようにし、身体のパフォーマンスに注意しながら降り降りしてください。
- はしごから足板、足板からはしごに降りるときは、はしごが不安定になります。両脚がはしごをしっかりと支えて、安定させてください。
- はしごを使って降りるときは、1段ずつ踏手に足を掛け、最上段の踏手まで使って慎重に降りてください。

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

はしご兼用脚立にとってお 汚水 セメント 石灰 刃物は大敵です。いつもきれいにして置いてください。

<掃除のしかた>

①汚れは、濡れタオルなどできれいに拭き取ってください。

②汚れがひどい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

③お風呂の汚れはクリーナーや洗剤で落とすとき、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。



注意 クリーナーや洗剤を付けたままにしておくと腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

①雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。